

『“こわばり”を減らしたい』

～地域に選ばれるために（2年目）～



社会福祉法人ひじり会 特別養護老人ホーム第2ひじり園

地域密着型・ユニット型 定員：特養29・ショートステイ10
平均介護度：3.92 介護職員数：23名（平均：45.9歳）

リスクマネジメント

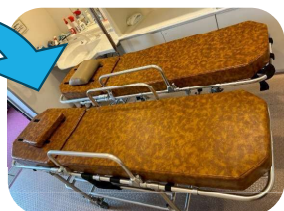
リスク抽出：特浴の抱え上げ介護を無くす

これまでは…



+

抱え上げ
2名介助



ストレッチャーを設置したが
なかなか浸透せず…

特浴用スライディングボード購入



ストレッチャー
定着

2年目の取り組みスタート

◎R6年度の課題

→福祉用具の使用方法の工夫・法人へのアピール

【R7年度 目標】

「生産性向上」 「拘縮予防」

◎変化感じる成功体験 ◎成果の見える化

【取り組んだ3つのコト】

- ①リスクマネジメント
- ②職員教育
- ③法人・家族・地域・職員への発信

カンファレンス



リスクマネジメント

腕・肩の痛みが出てきた…理由は？

動画や写真で検証



不慣れ



身長

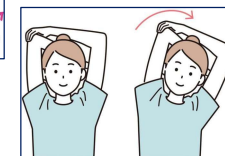
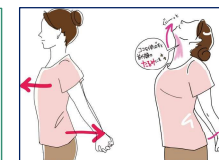


立ち位置

自分の動きを検証

↓
移乗姿勢・方法確認

↓
必要改善点が見えてきた



リスクマネジメント

特浴用スライディングボードを
使用して変わったこと

- 移乗時抱え上げ〇
- 無理な個浴対応から安心な特浴へ



- 無理な姿勢や腰痛が減
- 利用者に合った入浴方法
- 内出血や剥離等、怪我の予防



リスクマネジメント

特浴用スライディングボード導入

特浴者数増 小さなムダを発見・解決



特浴対応時間削減 安全な入浴 腰痛改善



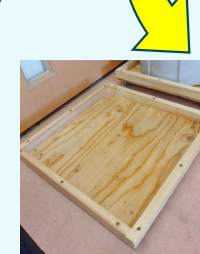
生産性向上

リスクマネジメント

ちょっとひと工夫



ボード・シートの忘れ（ムダ）
増えた洗濯物の持ち運び



職員教育

「自分のユニットで実践したい！」

実際に見て勉強 気になる対象者を相談



クッションが多すぎる・・・
人によって使い方が違う・・・

3年目に向けて

褥瘡の改善に向けて

膝痛解消に向けて



三日月型

じゃばら型



W型



スライディ:M



スライディンググローブ

最低限のクッションでシンプルに！
力を委ねられる枕へ変更

まとめ

「こわばりを減らしたい！」

ポジショニング ↔ 生活の質の維持

【次の課題】 体位交換・上方移乗時の
スライディングシートの活用

取り組みを継続していくために

発信者の強い意志

発信

地域・家族・職員

法人・家族・地域への発信

法人

職員研修会にて進捗状況を報告



家族

- アンケートの活用
- 家族会にて取り組み報告
- 活動への理解度UPに向け福祉用具体験



地域

- 運営推進会議にて報告
- 利用者のために取り組んでいる姿勢をアピール
- 苦戦していることも地域で共有

全員で解決を図る

3年目のテーマ：『コンセンサス』

(合意 総意)



- ①福祉用具の使用する場面を決める
- ②委員を先頭に環境作り
- ③成功事例を増やしていく

～地域に選ばれる施設を目指して～